

## 姫島村立姫島中学校の実践と学習

共 催 「地域の色・自分の色」研究会+姫島村教育委員会 日 時 2025年7月7日(月) 10.40~12.30

参加者 1、2年生 19名、3年生 14名 生徒計 33名+河野校長、仲山教頭、教職員+堀内学芸員

「地域の色・自分の色」研究会 照山代表+事務局 塩月

資 料 実 践 血の池地獄の赤い泥+拍子水温泉の黄土色の泥+ペットボトルのキャップ+白い布+割り箸等

学 習 学習材「ふるさとのうみとそら」+パワーポイント

体 制 進 行 生徒代表、講 師 照山龍治代表、記 録 塩月孝子



### (1) 事前アンケート調査

### (2) 実践学習① 3 時限 10.40~11.30

①始まりの挨拶→講師と研究会の紹介、姫島中学校での「地域の色・自分の色」活動の振り返り



### ②布染めの手順を説明

③布配布、絞り染め準備(布、蓋、インデックス、輪ゴム、泥)→布を2種類の泥に浸ける



### ④学習材「ふるさとのうみとそら」配布、説明

→「色」を入り口とし、地域の自然や歴史や文化の学びを地域防災教育に繋ぐ物語教材

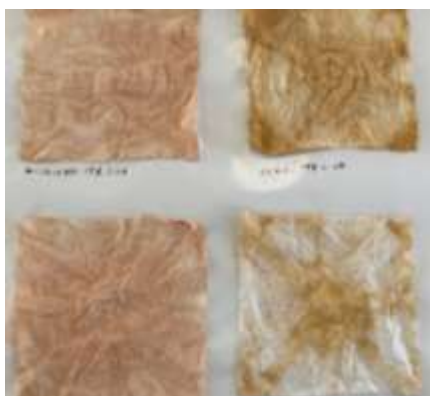


### (3) 実践学習② 4 時限 11.40~12.30

⑤パワーポイントによる地域学習(地域の色を切り口とした地域の学び→地域防災教育)



⑥「絞り染め」をそれぞれの泥から引き上げ、洗浄(浸けてから、50分経過)



⑦意見交換

生徒 A「姫島の宝物は何だと思いますか？」

照山「皆さん方はもちろんですが、私は、それに加えて姫島黒曜石だと思います。先程、説明したように、全国の黒曜石は黒色ですが、姫島黒曜石は乳白色です。縄文時代には、姫島黒曜石は、鹿児島県から大阪府までとても広い地域で使われていました。鉄が普及するまでは、包丁や矢尻に使われ、





現在の鉄のように生活に必要不可欠な材料でした。

生徒 B「大分県の宝物は何だと思いますか？」

照山「火山だと思います。七つの火山が姫島を作り、鶴見岳や伽藍岳という火山が別府扇状地を作り、

別府市の宝物である地獄めぐりや温泉を作りました。

国東半島では、シチトウイや米麦を作っている土壌も火山が作りました。弥生時代のたたら製鉄の原料である砂鉄も火山から生まれました。」

#### ⑧終わりの挨拶

#### (4) 学習材「ふるさとのうみとそら」寄贈式

中元副村長+照山

林教育長+照山



#### (5) 林教育長と河野校長、照山代表との意見交換

照山代表「研究協力校としてご協力ありがとうございました。」

生徒の授業に臨む態度が立派なので驚きました。姫島中学校の子どもたちの成長が楽しみです。」

河野校長「姫島中学校では、離島という特別な環境で育った生徒に、島外のいろんな人の意見を聞かせたいということで、多くの外部講師の方をお願いして、授業をもっています。」

照山「教職員の方々が、この実践学習にかなり関心をもっていたようですし、生徒が鉄の化合物や防災など教職員にいろいろな質問をしていたので、教職員のご感想をお願いできないでしょうか？」

河野校長「大丈夫です。生徒のアンケート調査結果と一緒に送ります。」